オムロン無停電電源装置(UPS)専用ソフトウェア

PowerAttendant Lite

for Mac

ユーザーズマニュアル





ご使用用途について

本製品は、一般オフィスや家庭で使われるコンピュータ上で使用することを目的に設計、製造されています。 きわめて高い信頼性や安全性が要求される次のような用途には、絶対に使用しないでください。

- 1. 人命に直接関わる医療機器などの用途
- 2. 人身の損傷に至る可能性のある用途
 - (例)航空機、船舶、電車、エレベータ等の運行、運転、制御に直接関連する用途
- 3. 主要な電算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなどへの用途
- 4. これらに準ずる機器への用途

ソフトウェア使用許諾について

本製品をコンピュータにインストールした場合、次のソフトウェア使用許諾書(以下、本契約)内容にご同 意いただけたものといたします。ご同意いただけない場合には、本製品をインストールしないでください。

<ソフトウェア使用許諾契約書>

オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフトウェア商品(以下ソフトウェア)を使用許 諾する条件を定めたものです。

必ずソフトウェアをご使用になる前に、以下の事項に注意してお読みください。

- 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムおよびそれに 関連する技術資料などのすべてを含みます。 ソフトウェアにかかわる著作権その他の知的財産権はオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている 第三者に帰属し、本契約によりお客様に移転することはありません。 お客様がそれらの権利を侵害した場合、前述のオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に 対する責任は、お客様が負うものとします。
- ソフトウェアはオムロンが販売する無停電電源装置専用です。
 オムロンは、お客様がオムロンの無停電電源装置とともに使用する目的のみでソフトウェアを使用する
 非独占権利を承諾します。
- お客様はソフトウェアのバックアップ目的のためのみにソフトウェアを複製することができます。
 お客様はソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリング その他のそれに類する行為を行うことはできません。
- お客様は、ソフトウェアの内容について本契約期間中およびその終了後も機密として保存し、第三者へ 開示しないものとします。
- 5. ソフトウェアに物理的な欠陥(CD-ROMの破損など)があった場合には、お客様が商品を購入した日から90日間に限り、無償で交換いたします。
- 6. お客様が商品を購入後90日以内にソフトウェアの欠陥を発見し返却した場合、オムロンは無償で交換 いたします。

- 1. 上記のソフトウェアの交換は、オムロンのソフトウェア保証責任のすべてを定めるものであり、オムロンはソフトウェアの欠陥により発生した、お客様の直接的、間接的あるいは波及効果よる損害に対しては一切の責任を負いません。
- 8. ソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他の それに類する行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ)または著作権を侵害す るものとしてオムロンに使用を許諾している第三者または当該第三者以外からお客様が請求された場合 にはオムロンは責任を負いません。
- 9. オムロンがお客様の損害について責任を負ういかなる場合においても、オムロンの責任はお客様が商品 購入代金として支払った金額を超えることはありません。
- お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することによりソフトウェアの使用許諾を終 了させることができます。
 その場合お客様はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに返却しなければなりません。

おことわり

- 1. 本製品および本書の内容の全部または一部を無断で流用することは固くお断りいたします。
- 2. 本製品および本書の内容については将来、予告なしに変更する場合があります。
- 3. 本製品および本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやお気づきの点がございました ら、当社までご連絡くださるようお願いいたします。
- 4. 本書に記載した画面などは、実際のものとは一部異なる場合があります。

- PowerAttendant®はオムロン株式会社の登録商標です。
- Mac、macOSは、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

©OMRON Corporation. 2017 All Rights Reserved

本書で使用する表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味	
注意	守っていただきたい事項、操作上の注意を要する事項を記載しています。	
	この記載をよくお読みになり、必ず指示に従ってください。	
参考	役立つ情報や、ヒントとなる情報を記載しています。	
	また、関連する情報が記載されているページや他のマニュアルなどを紹介して	
	います。	
本製品	オムロン製「PowerAttendant® Lite」(PAL)を指します。	
[]	画面に表示される項目で、操作対象のもの(クリックできるボタン類)を表しま	
	す。	
	(例)[次へ] ボタン	
Гј	画面に表示される項目で、画面名や設定値を表します。	
	(例)「シャットダウンパラメータ」タブ	

目次

1. 機能	能概要	1
1-1	主な機能	1
	■ コンピュータの自動シャットダウン	1
	■ UPS の状態監視	1
	■ UPS の制御	1
	■ ネットワーク上のコンピュータの制御	1
1-2	運用の手順	2
1-3	システム構成例	3
	UPS にコンピュータを1台接続(1対1)	3
	■ UPS にネットワークを介した複数台のコンピュータを接続(1 対 N)	3
1-4	動作の流れ	4
1-5	ソフトウェアの構成	5
1-6	シャットダウンの種類	6
1-7	シャットダウンの流れ	7
1-8	動作環境	8
	■ 対応 OS	8
	Ⅰ 対応 UPS	8
	■ 通信インターフェース	8
2. U	IPS との接続	9
2-1	USB 接続	9
3. イ	ンストールの手順	
3-1	インストールの前に	
3-2	インストール	
3-3	アンインストール(削除)	
4. 基	5本項目と動作確認	
4-1	ステータスメニューアイコン	
4-2	ステータスメニューアイコンの表示内容	
4-3	モニタ画面の起動とログインの手順	
4-4	シャットダウンパラメータ設定	
4-5	シャットダウンパラメータを設定する	
4-6	動作テストの実行	

5.	操(作と詳細設定	25
5	-1	エージェントの停止/起動	. 25
5	-2	エージェントー覧画面の見方	25
5	-3	簡単設定メニューと詳細設定メニュー	. 27
5	-4	設定メニュー一覧	. 28
5	-5	トップ画面	. 30
5	-6	シャットダウンパラメータ	. 31
		シャットダウンパラメータ設定	. 31
		シャットダウンオプション設定	. 31
5	-7	スクリプト設定	. 33
5	-8	スクリプトの作成	. 35
		特殊なスクリプトコマンド	. 36
		スクリプト例	. 36
		スクリプト作成上の注意	. 36
5	-9	スケジュール	. 38
		スケジュール登録	. 38
		スケジュール設定	. 40
5	-10	ログ	. 41
		イベントログ	. 41
		データログ	. 43
5	-11	イベントアクション設定	45
5	-12	UPS 起動設定	. 46
6.	その)他設定	. 48
6	-1	UPS 設定	. 48
6	-2	通信設定	. 49
6	-3	手動操作	51
6	-4	コマンド送信	53
6	-5	ユーザアクセス権設定	. 54
6	-6	同期設定	55

1. 機能概要

自動シャットダウンソフトウェア PowerAttendant[®] Lite(以下、本製品)は、コンピュータに接続した無 停電電源装置(以下、UPS)の状態を常時監視して、入力電源異常(停電など)が発生した際に、コンピュ ータを正常にシャットダウンして、OS やハードディスクの損傷を防止します。 本製品には次のような特長があります。

1-1 主な機能

■ コンピュータの自動シャットダウン

入力電源異常(停電など)が発生した場合、アプリケーションソフトや OS を終了させた後に UPS の電源 を停止させます。異常発生時にもデータやソフトウェアを安全に守ります。

■ UPS の状態監視

UPSの状態を監視し、そのログをコンピュータに記録します。

■ UPS の制御

スケジュール運転、即時シャットダウン、自己診断テスト、UPSの設定などを行うことができます。

■ ネットワーク上のコンピュータの制御

スクリプト機能を使うことで、入力電源異常などによるシャットダウン実行時に、ネットワーク上の他の コンピュータをシャットダウンすることができます。

1-2 運用の手順

以下の手順で本製品の運用を開始します。操作方法は該当するページを参照してください。

UPS の設置	各 UPS のマニュアルを参照して、UPS を正しく設置します。
UPS とコンピュータ の接続	UPS とコンピュータを USB で接続します。
インストール	本製品をコンピュータにインストールします。
起動	本製品を起動してエージェントにログインします。
設定	本製品を設定します。
動作の確認	シャットダウン動作の確認テストをします。
運用開始	運用を開始します。

1-3 システム構成例

本製品を使用して UPS とコンピュータを制御するシステム構成について説明します。 UPS とコンピュータを1対1で接続する構成と、ネットワークを介して、UPS と複数台のコンピュータを 1対Nで接続する構成があります。

■ UPS にコンピュータを1台接続(1対1)

入力電源異常やスケジュール運転など、シャットダウンイベントが発生した場合、コンピュータおよび UPS を自動的にシャットダウンします。



■ UPS にネットワークを介した複数台のコンピュータを接続(1対N)

入力電源異常やスケジュール運転など、シャットダウンイベントが発生した場合、本製品をインストールし ているコンピュータと UPS を自動的にシャットダウンすると共に、ネットワーク上のコンピュータにスク リプトによるシャットダウン命令を出します。



1-4 動作の流れ

入力電源異常発生時のシャットダウン動作について説明します。



1-5 ソフトウェアの構成

本製品はエージェント、ステータスメニューアイコン、モニタ画面で構成しています。

・エージェント

コンピュータに常駐して UPS の状態などを監視します。

・ステータスメニューアイコン

デスクトップ上部のステータスメニューに常駐して UPS の状態などをアイコン表示します。

・モニタ画面

UPS やコンピュータの状態確認および本製品の設定を行うことができます。

1-6 シャットダウンの種類

入力電源異常や通信エラーなど異常を検出した場合や、スケジュールで設定された日時に、設定に従い コンピュータを自動的にシャットダウンします。 本製品には以下のシャットダウンを用意しています。

シャットダウン種類	説明
入力電源異常シャットダウン	入力電源異常(停電/電圧変動/周波数変動等)時にシャットダウンし
	ます。
スケジュールシャットダウン	事前に設定したスケジュールによりシャットダウンします。
即時シャットダウン	ユーザの手動操作によりシャットダウンします。シャットダウンパラ
	メータ設定のシーケンスに従いOSのシャットダウン、UPSの自動停止
	ができます。
	※本操作でシャットダウンした場合、UPSの再起動はUPS本体の電源ス
	イッチをOFF/ONします。
緊急シャットダウン	入力電源異常時にUPSのバッテリ残量が少なくなった(バッテリロー
	状態)場合、設定されている動作をすべてキャンセルして、OSをシャ
	ットダウンします。
	※本動作時は、スクリプトも実行されません。
待機時間キャンセルシャットダ	入力電源異常の「待機時間」中にUPSのバッテリ予測残量が設定時間
ウン	の合計(「シャットタウン開始遅延」+「スクリプト実行時間」+「シ
	ャットダウンに必要な時間」)を切った場合、待機時間をキャンセル
	してシャットダウンを開始します。
異常発生時シャットダウン	UPS に異常が発生した場合にシャットダウンします。
警告発生時シャットダウン	UPS に警告が発生した場合にシャットダウンします。
通信エラーシャットダウン	UPS との通信エラーが発生した場合にシャットダウンします

参考

- ・「シャットダウンパラメータ設定」→P.18「4-4 シャットダウンパラメータ設定」参照
- ・以下シャットダウンは「シャットダウンオプション設定」で設定します。
 緊急シャットダウン / 待機時間キャンセルシャットダウン / 異常発生時シャットダウン
 / 警告発生時シャットダウン / 通信エラーシャットダウン
- ・「シャットダウンオプション設定」→P.31「シャットダウンオプション設定」参照

1-7 シャットダウンの流れ

以下の流れでシャットダウンが実行されます。



	項目名	説明
1	待機時間	本製品が入力電源異常検出後、シャットダウン処理を開始するま
		での時間(電源状態が回復するか、様子を見る時間)。
		※UPSのバックアップ可能な時間を考慮せずに、待機時間を長く
		設定すると OS がシャットダウンを完了する前に、バッテリが
		尽きて UPS が停止する可能性がありますのでご注意ください。
2	シャットダウン開始遅延時間	待機時間経過後、OS のシャットダウン開始に遅延をかけたい場合
		に設定します。(スクリプトを設定している場合は、本時間経過後
		にスクリプトの実行を開始します。)
3	スクリプト実行時間	スクリプトの処理が完了するのに十分な時間を設定します。
		この時間が経過するまで OS のシャットダウンは開始されません。
		スクリプトを使用しない場合は0秒にします。
4	シャットダウンに必要な時間	OS のシャットダウン処理にかかる時間を設定します。
		UPS 自動停止「する」を選択している場合、この時間経過後に
		UPS は自動停止(電源 OFF)します。

1-8 動作環境

本製品の動作環境は以下の通りです。

■ 対応 OS

対応 OS 名				
macOS	10.12、	macOS	10.13	

■ 対応 UPS

シリーズ名	型式
BZ	BZ35LT2、BZ50LT2
BX	BX35F、BX50F
BY-S	BY35S、BY50S、BY80S、BY120S
BY-W	BY50FW、BY75SW
BW-T	BW40T、BW55T、BW100T、BW120T
BN-T	BN50T、BN75T、BN100T、BN150T、BN220T、BN300T
BN-R	BN75R, BN150R, BN300R
BN-XR	BN150XR
BU-RW	BU75RW、BU100RW、BU200RW、BU300RW
BU-2SW	BU1002SW、BU3002SW

■ 通信インターフェース



2.UPSとの接続

コンピュータと UPS を USB ケーブルで接続します。

2-1 USB 接続

- ① コンピュータの電源を OFF にします。
- ② UPS 付属の USB ケーブルでコンピュータと UPS を接続します。

接続例(BN50Tの場合)



③ UPS→コンピュータの順番に電源を ON にします。



3.インストールの手順

本製品のインストール手順を説明します。

3-1 インストールの前に

- ・本製品は、オムロン製 UPS 以外では使用できません。
- ・管理者権限のあるユーザでコンピュータにログインしてください。
- ・お使いの環境でOSが正常にシャットダウンできることを確認してください。
- 他の自動シャットダウンソフトウェアを使用している場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、OSを再起動してください。各ソフトウェアのアンインストール方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- ・本製品をインストールする前に、UPSと接続してください。

3-2 インストール

注意

本製品はインストール後、OS を再起動する必要があります。 実行中のアプリケーションを全て終了した後、インストールを開始してください。

- 当社ホームページより本製品をダウンロードし、
 「ダウンロード」フォルダ→「PALV1xx_Mac」フォルダ内の「PowerAttendant Lite Installer.pkg」
 をダブルクリックし、インストールを開始します。
- 「続ける」ボタンをクリックします。



③ [同意する] ボタンをクリックします。

000	> PowerAttendant Liteのインストール		
	このソフトウェア に同意する必要が	のインストールを続けるには、ソフトウェア使用許諾契約の条件 あります。	
● はし ● 使月 ● イン	インストールを網 をキャンセルして ください。	はけるには、"同意する"をクリックしてください。インストール インストーラを終了する場合は、"同意しない"をクリックして	
インイン	使用許諾契約な	を読む 同意しない 同意する	
• 概要		トールしないでください。 [ソフトウェア使用許諾契約書] オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフト ウェア商品(以下ソフトウェア)を使用許諾する条件を定めたも のです。 必ずソフトウェアをご使用になる前に、以下の事項に注意して お読みください。 1. 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれる プリント 保存 戻る 続ける	

④ [インストール] ボタンをクリックします。

• • •	🥪 PowerAttendant Liteのインストール
	* で標準インストール
 はじめに 使用許諾契約 インストール先 インストールの種類 インストール 概要 	この操作には、コンピュータ上に138.9 MBの領域が必要です。 ディスク************************************
	戻る インストール
参考	
インストール先を変更す	る場合は[インストール先を変更…]ボタンをクリックします。

[インストールを続ける] ボタンをクリックします。

0 0	🥪 PowerAttendant Liteのインストール
• はじめ に	このソフトウェアのインストール終了時に、コンピュ ータを再起動する必要があります。ソフトウェアを今 すぐインストールしてもよろしいですか? す。
 使用許諾契; 	キャンセル インストールを続ける 5に
• インストー.	
インストールの種類	
● インストール	
● 概要	
	インストール先を変更
	戻る インストール

⑥ 管理者権限のパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] ボタンをクリックします。

インストーラが新しいソフトウェアをインストールしようとしています。 許可するにはパスワードを入力してください。
ユーザ名: omron
パスワード:
キャンセル ソフトウェアをインストール

⑦ インストールが終了したら [再起動] ボタンをクリックします。



以上で本ソフトウェアのインストールが完了しました。

続いて、基本項目の説明(P.15~P.22)とシャットダウンテスト(P.23~P.24)に移ります。

参考 本ソフトウェアの操作、設定の詳細については P.25~P.55 を参照してください。

3-3 アンインストール(削除)

本ソフトウェアをアンインストール(削除)する手順を説明します。

 ダウンロードした本製品を解凍したフォルダ内にある「Uninstall_PowerAttendant_Lite」をダブ ルクリックし、アンインストールを開始してください。

		► PALV10_Mac	>>
 ◎ AirDrop ■ マイファイル ○ iCloud Drive ◇ アプリケーシー・ □ デスクトップ ● 書類 ● ダウンロード 	 (※) AirDrop (※) マイファイル (※) iCloud Drive (※) アプリケーシー・・ (※) デスクトップ (※) 書類 (※) ダウンロード 	名前 ・ PowerAttendant Lite Installer.pkg ・ Uninstall_PowerAttendant_Lite	▲ 3 2 2

アンインストールを続ける場合は、[OK] ボタンをクリックします。
 アンインストールをキャンセルする場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

	PowerAttendant L よろしいですか?	.iteをアンインストーノ	レします。
<u> </u>		キャンセル	ОК

③ 管理者権限のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

Uninstall_PowerAttendant_Liteが変更を加えようとして います。 許可するにはパスワードを入力してください。
ユーザ名: omron
パスワード:
キャンセル OK

④ [OK] ボタンをクリックします。



以上でアンインストールは完了です。

4.基本項目と動作確認

4-1 ステータスメニューアイコン

本製品をインストールするとコンピュータにエージェントが常駐し UPS を監視します。 本製品および UPS の動作状態はステータスメニュー(メニューバーの右側)のアイコンで確認できます。



4-2 ステータスメニューアイコンの表示内容

アイコン表示	表示内容	説明
.	商用運転中正常	エージェントが UPS を監視しています。
2		UPS は正常運転しています。
×	エージェント停止	エージェントは UPS の監視を停止しています。
-	バックアップ運転中	UPS は入力電源異常でバックアップ運転(バッテリ出力)し
		ています。待機時間が経過するとシャットダウンを開始しま
		す。
	通信エラー	UPS と本製品の間で通信エラーが発生しています。
<u></u>		※UPS とコンピュータが付属の USB ケーブルでしっかり接続
		されているか確認してください。
* .	ハードウェア異常	UPS に問題が発生しています。
U		問題はイベントログで確認します。
		※イベントログの確認方法は、P.30「5-5 トップ画面」、
		P.41「イベントログ」を参照してください。
		※機種毎に検出できる異常は異なります。ハードウェア異常の
		詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。

4-3 モニタ画面の起動とログインの手順

本製品の設定はモニタ画面で行います。以下の手順でモニタ画面を起動してエージェントにログインします。

① ステータスバーの「移動」→「アプリケーション」を開き、「PowerAttendant Lite」をダブルクリックします。

	 ▶ アプリケーショ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	a シ ・ ① Q 検索
よく使う項目	名前	> 変更日
@ AirDrop	Photo Booth	2017年2月25日 9:39
	🖣 PowerAttendant Lite	今日 14:51
マイファイル	QuickTime Player	2017年2月25日 9:39
Cloud Drive	🧭 Safari	2017年2月25日 9:39
A. 77115-Su	💿 Siri	2017年2月25日 9:39
4-8 7 7 9 9 - 9 ···	Time Machine	2017年2月25日 9:39
🔜 デスクトップ	💕 Xcode	2016年9月26日 22:58
「「「」 書類	🧶 イメージキャプチャ	2017年2月25日 9:39
	🗇 カレンダー	2017年2月25日 9:39
0 99990-F	 システム環境設定 	2017年2月25日 9:39

② エージェント一覧画面でエージェント名 (コンピュータ名) をクリックします。

		Po	werAttendant Lite		
OMRON T-VrVb&	LIPS型式	LIPSIT M	パッテリ球響	通信ボート	2010/12/00
Mac1012S1.local	BN100T	商用運転中	正常	USB1	通信中
Mac1012-1.local	BY50S	商用運転中	正常	USB1	通信中
				104 T - 27 - 14	
				TEL-JIJP	OCAC IP ADDRESS DOM

参考

エージェントー覧画面には、ネットワーク上に検出したエージェントを表示します。

3

「ログイン ID」と「パスワード」を入力して[OK]ボタンをクリックします。

000	ログイン
	non
エージ	^ジ ェント名: Mac1012S1.local
F	コグインID: Login ID
,	ペスワード: Password
	OKキャンセル

※初期設定:ログイン ID=Admin/パスワード=omron

参考

新しいユーザは「詳細設定」→「その他設定」→「ユーザアクセス権設定」で登録します。 P.54「6-5 ユーザアクセス権設定」参照

ログインしたエージェントのトップ画面を表示します。

0 0			PowerAt	ttendant Lite					
omron									
样細設定	トップ								
~ップ	UPS選択								
・ ヤットダウンバラメータ	Mac1012S1.local		This of	女田御新寺	-	- 444			
グオフ	U BU USBI		BN1001	間用建転甲	11	.芾			
11-7	UPS状態								
	入力電圧:	40	60	80	100	120	140	102.6	v
	出力電圧:	40	60	80	100	120	140	103.1	v
	入力周波数:	40	45	50	56	60	65	49.9	Hz
	出力周波数:	40	45	50	56	60	65	49.9	Hz
	接続容量:	0	25	50	75	100	125	3	%
	パッテリ容量:	0	25	50	75	100	125	100	%
	前回のバッテリ	前回のバッテリ使用開始日(交換日): 2017-03-16 次回のバッテリ交換:							
	次回のシャット	ダウン(日時)	次回のUP	S起動日(日時):					
	イベントログ								
	2017-03-20 10:5	2:44 入力電源	正常[Mac1012S1.I	ocal UPS(BN100T/USI	31)]				
	2017-03-20 10:5	2:44 通信確立	[Mac1012S1.local	UPS(BN100T/USB1)]					

4-4 シャットダウンパラメータ設定

入力電源異常時(停電時)のシャットダウン動作の設定をします。

参考

設定を変更したら、必ず[適用]ボタンをクリックします。



	項目名	説明
1	初期値に戻す	シャットダウンパラメータのパターンを選択します。
		「待機時間」の長さに応じて 3 つ(長め 10 分/標準 1 分/短め
		10 秒)のパターンがあり、「シャットダウンに必要な時間」は全
		て3分です。
		※本製品の初期値は「標準」(待機時間1分/シャットダウンに必
		要な時間3分/UPS自動停止「する」)です。
2	シャットダウンパラメータ	「パラメータ」、「出力停止までの時間」で設定した時間をグラフ
		で表示します。
3	UPS 出力コンセント選択	出力コンセント制御機能のある UPS を使用する場合、コンピュー
		タの電源ケーブルを接続した出力コンセントグループ (A/B/C)
		を選択します。
		出力コンセント制御機能のない UPS では、「出力コンセント A」
		のみ表示します。

	項目名	説明
3	填日名 待機時間	 記切 本製品が入力電源異常を検出後、シャットダウンを開始するまでの時間を設定します(0~36,000秒)。 ※本時間は入力電源異常が回復するか、様子を見る時間です。 ※本時間内に復電した場合は、シャットダウンを開始しません。 ※待機時間中には以下警告画面を表示します。 警告画面でカウントダウンの[一時停止]、[再開]が可能です。
	シャットダウン開始遅延	 OS のシャットダウン開始時間を遅延したい場合に設定します。 (設定値:0~7,200秒/初期値0秒) 例)シャットダウン開始時(待機時間が経過した時)から、1分後にOSのシャットダウンを開始したい場合は、60秒に設定します。 ※遅延をかけない場合は、「0」秒に設定します。
	スクリプト実行時間	スクリプト処理が完了するのに十分な時間を設定します。 (設定値:0~7,200秒/初期値0秒) ※この時間が経過するまでOSのシャットダウンは開始しません。 ※スクリプトを使用しない場合は「0」秒に設定します。
	シャットダウンに必要な時間	OS のシャットダウン開始から完了するまでに必要な時間を設定 します。(設定値:0~1,800秒/初期値180秒) ※設定時間が短い場合、OS のシャットダウン途中で UPS が出力 停止(電源 OFF)する可能性がありますので、ご注意ください。
	使用するスクリプト	[詳細] ボタンで「スクリプト実行リスト」の確認ができます。 ※スクリプトについては P. 33「5-7 スクリプト設定」を参照して ください。

	項目名	説明
3	UPS 自動停止	コンピュータがシャットダウンした後の UPS 自動停止の設定を します。 ※UPS 自動停止「する」に設定した場合、シャットダウン途中で 復電しても UPS は設定時間後に必ず停止します。 ※UPS 自動停止「しない」に設定した場合、UPS はバッテリを使 いきったところで停止します。バッテリを使いきる前に復電し た場合は、そのまま運転を継続します。
4	出力停止までの時間	出力コンセント制御機能を持った UPS で使用する項目です。 本製品をインストールしたコンピュータが接続されてない、出力 コンセントグループ(A/B/C)の出力停止時間を設定します。 OS のシャットダウン開始後、出力コンセントグループの出力が停 止(接続機器への電源供給を停止)するまでの時間を設定します。 (設定値:0~1,800秒/初期値:A180秒、B180秒、C180秒) ※「パラメータ」の設定によりUPS 停止までの時間が変わります。 OS のシャットダウンが決った時点(「待機時間」経過後)から、 UPS が停止するまでの時間は、「シャットダウン開始遅延」、「ス クリプト実行時間」、「シャットダウンに必要な時間」の合計値 になります。 ※パラメータの「シャットダウンに必要な時間」よりも「出力停 止までの時間」を長く設定した場合、OS のシャットダウンが決 った時点(「待機時間」経過後)から、UPS が停止するまでの 時間は、「シャットダウン開始遅延」、「スクリプト実行時間」、「出 力停止までの時間」の合計値になります。
	入力電源異常時の 最大バックアップ時間	 入力電源異常時に UPS が一定時間バックアップ運転をした後、自動停止する機能です。(設定値:0~9,999 秒/初期値0秒) ※0秒は、本機能を無効にする設定です。 本製品では、「シャットダウンに必要な時間」を1,800秒よりも長くしたい場合に、代替え設定として使用します。 ※本設定には「待機時間」+「シャットダウン開始遅延」+「スクリプト実行時間」+「シャットダウンに必要な時間」の合計値を設定します。 ※本設定で UPS を停止する場合、パラメータの「UPS 自動停止」は「しない」に設定します。 ※本機能の制限本設定で UPS を停止する場合、UPS 停止時間前に復電すると、UPS は停止せず、運転を継続します。

項目名	説明
	設定例)
	動作:OSのシャットダウン開始から1時間後に UPS を停止した
	い。シャットダウン開始までの時間設定は以下の通り。
	待機時間 60 秒
	シャットダウン開始遅延0秒
	スクリプト実行時間 0 秒
	設定 : パラメータ→UPS 自動停止「しない」
	入力電源異常時の最大バックアップ時間→「61」分
	※「待機時間 60 秒」+「シャットダウン開始遅延 0 秒」
	+「スクリプト実行時間 0 秒」+「OS シャットダウン開始
	から UPS 停止までの時間 60 分」=61 分

参考

設定時間の配分と流れは、「シャットダウンパラメータ」欄のグラフで確認します。

4-5 シャットダウンパラメータを設定する

擬似的に UPS を停電状態(商用電源の供給を停止)にして、本製品がコンピュータを正常にシャットダウンできるか確認します。

[シャットダウンパラメータ]→[シャットダウンパラメータ設定]をクリックします。
 「パラメータ」の「待機時間」を選択します。初期値は「60」秒です。

	PowerAttendant Lite
OMRON	
詳細設定	シャットダウンパラメータ設定
トップ	初期値に戻す 長め 標準 短め
シャットダウンパラメータ	シャットダウンパラメータ
	21+21-5/2022
シャットダウンパウメータ版	
ダオフ	エージェント 特徴時間1分 シャットダウンに必要な発展する
1.7	出力得止までの時間 3分
	出力コンセントB
	 出力コンセントC
	入力電源異常時の最大バックアップ時间 0分
	//7/-9
	UPS出力コンセント選択 出力コンセントA O 使用するスクリプト 詳細
((小田市岡 60 ▲ ▼ タ (3) UPS自動停止 する (3)
	スクリプト電行時間 0 人 ▼ 約
(
×	
	出力停止までの時間
	出力コンセントA 180 A V 秒 出力コンセントB 180 A V 秒
	出力コンセントC 180 ▲ ▼ 移 入力電源異常時の最大パックアップ時間 0 分

- ② 「シャットダウンに必要な時間」を選択します。初期値は「180」秒です。
 ※OSのシャットダウンが完了するより少し長めの時間を選択してください。
- ③ 「UPS 自動停止」の選択をします。初期値は「する」です。
 ※本テストでは UPS の停止まで確認しますので、「する」を選択してください。

→シャットダウンパラメータ欄のグラフで、入力電源異常(停電)から OS のシャットダウン開始、 UPS 運転停止(電源 OFF)の時間配分と流れを確認し、問題があれば修正します。

④ [適用]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

^{※「60」}秒にした場合、本製品が停電を検出してから 60 秒でコンピュータのシャットダウンを 開始します。

4-6 動作テストの実行

電源供給を停止してコンピュータの正常なシャットダウンと UPS の停止動作を確認します。

注意

万一に備えて、作成中のデータなどは保存しておいてください。

参考

UPS とコンピュータが USB ケーブルで接続され、ステータスメニューアイコンが「商用運転中正常」の表示になっていることを確認してください。 P.15「4-2 ステータスメニューアイコンの表示内容」参照

 ステータスメニューアイコンが以下「商用運転中正常」になっていることを確認し、 UPSのAC入力プラグをコンセントから抜きます。

Ÿ١

② 本製品が入力電源異常を検出すると、 ステータスメニューアイコンが「バックアップ運転中」の表示に変わります。



③ 以下警告画面が出て「待機時間」のカウントダウンを開始します。

0 0	入力電源	異常
バッテリー残量	: 100 %	
残稼働時間:209	940秒	
シャットダウン	∨開始まで 54 秒	

※警告画面の[一時停止]ボタン、[再開]ボタンでカウントダウンの一時停止、再開が可能です。

- ④ 「待機時間」のカウントダウンが終了すると、コンピュータはシャットダウンを開始します。
- ⑤ コンピュータのシャットダウン開始から、「シャットダウンに必要な時間」経過後に UPS は自動停止します。
 ※必ず UPS が自動停止するまで、そのままお待ちください。
- ⑥ UPS の自動停止(電源 OFF)を確認したら、UPS の AC 入力プラグをコンセントに戻し、 自動再起動させます。



コンピュータを起動します。

参考

「システム環境設定」	→「省エネルギー」で	、「停電後に自動的に起重	り」 にチェックを入れる
と、復電時に UPS の起	^己 動に連動して OS が自	自動起動します。	
••• K > ==	省エネルギー	Q 検索	
コンピュータのスリーブ:	1599 11 1599 11 1599 11	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
 ✓ 可能な場合はハードディスクを ✓ ネットワークアクセスによるス ✓ 停電後に自動的に起動 	スリープさせる リープ解除		
		デフォルトに戻す	
		スケジュール?	

⑧ ステータスメニューアイコンでエージェントが商用運転中正常の表示になっていることを確認します。



以上でシャットダウンテストは終了です。

注意

UPS を自動停止「する」設定の運用上の注意

OSのシャットダウン途中で復電した場合、UPSが停止する前にコンピュータの電源を入れてしまうと コンピュータの起動途中で UPS が出力停止する可能性があります。

UPS を自動停止「する」設定にしている場合は、必ず UPS が停止 / 再起動した後にコンピュータの電源 を入れてください。

5.操作と詳細設定

5-1 エージェントの停止 / 起動

ステータスメニューアイコンを右クリックすると、エージェントの「停止」または「起動」ができます。



参考

ステータスメニューアイコンの表示の見方は、P.15「4-2 ステータスメニューアイコンの表示内容」を参照してください。

5-2 エージェントー覧画面の見方

ステータスバーの「移動」→「アプリケーション」を開き、「PowerAttendant Lite」をダブルクリックす るとモニタ画面が起動し、エージェント一覧が表示されます。

• • •		Pow	erAttendant Lite			
OMRON エージェント名	UPS型式	UPS状態	パッテリ状態	通信ボート	通信状態	
Mac1012S1.local	BN100T BY50S	商用運転中 商用運転中	正常正常	USB1 USB1	通信中通信中	l
1	2	3	4	5	6	
						1
						1
						ł
						l
						l
						ł
						1
				手動エージェン	• 検索: IP Address 検索	
					Ø	

	項目名	表示内容
1	エージェント名	本製品がインストールされているコンピュータのコンピュータ名を表示しま
		す。
		エージェント名をクリックしてトップ画面にログインします。
2	UPS 型式	接続されている UPS の型式を表示します。
(3)	UPS 状態	UPS の状態(以下参照)を表示します。
		通信エラー/スタンバイ/シャットダウン待ち/再起動待ち
		/シャットダウン中/バックアップ中/テスト中/商用運転中
4	バッテリ状態	バッテリの状態(以下参照)を表示します。
		バッテリ未接続/バッテリロー/バッテリ劣化/テスト中/充電中/放電中
		/バッテリ寿命/バッテリ異常/正常
5	通信ポート	UPS が接続されている通信ポートを表示します。
6	通信状態	コンピュータと UPS の通信状態を表示します。
		通信中/表示なし
7	手動エージェン	IP アドレスを指定してエージェントに直接ログインします。
	ト検索	IP アドレスを入力して「検索」ボタンをクリックします。

5-3 簡単設定メニューと詳細設定メニュー

設定メニューには、基本的な項目だけを表示する「簡単設定」と、すべての項目を表示する「詳細設定」が あります。



簡単設定メニュー

詳細設定メニュー

5-4 設定メニュー一覧

メニュー	設定項目	ב_×	一表示	
項目			簡単	詳細
トップ	・UPS 選択		0	0
	・UPS 状態			
	・イベントログ			
シャット	シャットダウン	・シャットダウンパラメータ	0	0
ダウン	パラメータ設定	・パラメータ		
パラメー		・出力停止までの時間		
タ	シャットダウン	・緊急シャットダウン		\bigcirc
	オプション設定	・待機時間キャンセルシャットダウン		
		・通信エラー時のシャットダウン		
		・異常発生時のシャットダウン		
		・警告発生時のシャットダウン		
スクリプ	スクリプト設定	・スクリプト設定情報		\bigcirc
ト設定		・スクリプト設定		
スケジュ	スケジュール	・登録済みスケジュール		\bigcirc
ール	登録	・スケジュール登録		
	スケジュール	・スケジュールシャットダウン開始警告設定		0
	設定			
ログ	イベントログ	・期間設定		0
		・ログオプション		
		・イベント発生状況(グラフ)		
	データログ	・UPS 選択		0
		・期間設定		
		・ログオプション		
		・入力電源状況(グラフ)		
イベント	アクション設定	・アクション情報		0
		・イベントリスト		
UPS	UPS 起動設定	・UPS 再起動設定		0
起動設定		・UPS 起動時の出力開始遅延時間		
		・UPS コールドスタート		
その他	UPS 設定	・UPS 選択		0
設定		・バッテリ自動テスト		
		・出力電圧/入力感度		
		 ・前回のバッテリ使用開始日(交換日) 		

ー ニニメ	設定項目	メニュ	一表示	
項目			簡単	詳細
その他	通信設定	・UPS 通信ポート		0
設定		・ネットワーク設定		
		・データ更新時間		
		・ログオフ時間		
	手動操作	・UPS 選択		0
		・ブザー		
		・即時シャットダウン		
		・自己診断テスト		
		・出力コンセント B		
		・出力コンセント C		
		・設定情報		
	コマンド送信	・UPS 選択		\bigcirc
		・コマンド		
	ユーザ	・登録済ユーザ		\bigcirc
	アクセス権設定	・ログ		
		・ユーザアクセス権設定		
		(新規登録/修正/削除)		
	同期設定	·同期設定		0

5-5 トップ画面

エージェントにログインするとトップ画面を表示します。



トップ画面には接続されている UPS の状態や発生したイベントなどの情報を表示します。

			PowerA:	tendant Lite					
OMRON									
相設定	トップ								
·ッフ ・ヤットダウンバラメータ (1)	UPS選択 Mac1012S1.local					7.00			
1977		_	841001	规则通数中		L R	_	_	
47	UPStX版 入力電圧:	4	60	+	100	120	140	102.6	v
	出力電圧:	-	60	80	100	120	140	103.1	v
0	入力周波数:	-	-	9 0	*	60	65	49.9	Hz
Ψ.	出力用波数:	4	-	9 0	*	60	65	49.9	Hz
	接続容量:	•	26	80	75	100	125	3	%
	パッテリ容量:	•	25	90	28	100	125	100	%
	前回のパッテリ 次回のシャット	使用開始日(交 ダウン(日)時):	接日): 2017-03 次回のUP	1-16 次国のパッ S記載日(日時):	テリ交換:				
	イベントログ	· · · · (
3	2017-03-20 10:5	2:44 入力電源]	王帝[Mac1012S1.k	ocal UPS(BN100T/USE	8100				
	2017-03-20 10:5	2:44 通信確立[Mac1012S1.local	UPS(BN100T/USB1)]					
	L								_

	項目名	説明
1	UPS 選択	エージェントに接続されている UPS の概要を表示します。
2	UPS 状態	UPS の「入力電圧」、「出力電圧」、「入力周波数」、「出力周波数」、
		「接続容量」、「バッテリ容量」をグラフと数値で表示します。
		「前回のバッテリ使用開始日(交換日)」は現在使用中のバッテリの使用
		開始日です。
		「次回のバッテリ交換」は UPS のバッテリ期待寿命、使用方法等から
		予めバッテリ交換時期の目安を、本製品上に設定した場合に表示します。
		P.48「6-1 UPS 設定」参照
		「次回のシャットダウン(日時)」、「次回の UPS 起動日(日時)」は
		次のスケジュール運転の予定を表示します。
		P.38「5-9 スケジュール」参照
3	イベントログ	発生したイベントを新しいものから2件表示します。

5-6 シャットダウンパラメータ

シャットダウン動作の設定をします。

「シャットダウンパラメータ設定」と「シャットダウンオプション設定」の2つの設定メニューがあります。

■ シャットダウンパラメータ設定

シャットダウンパラメータ設定については、P.18「4-4 シャットダウンパラメータ設定」を参照してください。

■ シャットダウンオプション設定



参考

- ・シャットダウンオプション設定を使用する場合は、チェックボックスにチェックします。
- ・設定を変更したら、必ず [適用]ボタンをクリックします。

	項目名	説明
1	緊急シャットダウン	入力電源異常時に UPS のバッテリ残量が少なくなった(バッテリロー状態)
		ら、シャットダウンパラメータ設定で設定されている動作をすべてキャンセ
		ルし、OSをシャットダウンします。
		本機能を使用しない場合は、チェックを外してください。
		(初期値:チェックあり)
		※本動作時は、スクリプトも実行されません。
2	待機時間キャンセル	入力電源異常の「待機時間」中に、残稼働予測時間(UPS の推定バッテリ
	シャットダウン	残量)が、シャットダウンパラメータ設定の時間の合計値(「シャットタウ
		ン開始遅延」+「スクリプト実行時間」+「シャットダウンに必要な時間」)
		を切った場合、待機時間をキャンセルしてシャットダウンを開始します。
		本機能を使用しない場合は、チェックを外してください。
		(初期値:チェックあり)
3	通信エラー時の	本製品と UPS の間で 10 秒を超える通信エラーが発生した場合、入力電源
	シャットダウン	異常時と同様にシャットダウンを開始します。
		(初期値:チェックなし)
		※10 秒のエラー復帰検知時間を設けていますので、この間にエラーが回復
		すればシャットダウンを開始しません。
4	異常発生時の	UPS に異常が発生した場合、シャットダウンを開始します。
	シャットダウン	(初期値:チェックなし)
		以下イベントから対象となる異常を選択します。
		ハードウェア異常/出力電圧異常/DC バス電圧異常
		/オーバーロード異常/出力短絡異常/バッテリ過充電異常
		/バッテリ充電不足異常/温度異常/ファン異常/トランス異常
		/バッテリ劣化/テスト結果・異常あり(バッテリ劣化)
		/テスト結果・異常あり(ハードウェア異常)/バイパス運転
5	警告発生時の	本製品が過負荷(接続容量オーバー)を検出した時に、シャットダウンを開
	シャットダウン	始します。
		(初期値:チェックなし)

参考

- 「オーバーロード異常」と「接続容量オーバー」の違い
- ・「異常発生時のシャットダウン」の「オーバーロード異常」は、過負荷で UPS が出力停止した状態(UPS は「EO」表示 / 「カフカテイシ」表示)です。
- ・「警告発生時のシャットダウン」の「接続容量オーバー」は、過負荷で UPS が警告を出しながら出力を継続 している状態(UPS は「OL」表示 / 「オーバーロード」表示)です。

※接続容量オーバー時の UPS の動作は機種毎に異なります。詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。

5-7 スクリプト設定

スクリプトは OS のタスクを実行するコマンドセットです。 本製品では登録したスクリプトをイベント発生時や、OS シャットダウン時に実行することができます。

参考

•設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。

•スクリプトの例

本製品による OS シャットダウン時に、ネットワーク上のコンピュータをシャットダウン処理する。

			PowerAtten	dant Lite			
OMRON							
簡単設定		スクリプト設定					
トップ	Γ	フクリプト乳白体が					90 90 B4 70
シャットダウンパラメータ	1	スクリフト設定情報 No スクリプト名称 シャットダウ	ン時の使用	デパイスIP	アドレス コマンドタイプ 修正	●】除	和規宣郞
スクリプト設定							
スクリプト設定							
スケジュール							
ログ							
イベント							
UPS起動設定		スクリプト設定					
UPS起動設定 その他設定	2	スクリプト設定 スクリプト名称					
UPS起動設定 その他設定	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ	なし	0	デバイスIPアドレス		
UPS起動設定 その他設定 ログオフ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS	なし その他	0	<i>デパイス</i> IPアドレス 文字コード	UTF-8	•
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数	なし その他	 ○ ○ ○ ○ ▲ ▼ 	デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒)	UTF-8	≎
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数 ログイン一般ユーザD	なし その他	© ○ ○ ▲ ▼	デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザJD	UTF-8	≎
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数 ログイン一般ユーザ/D ログイン一般ユーザ/スワード	なし その他	 ○ ○ ○ ▲ ▼ 	デパイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザID ログイン管理者ユーザパスワード	UTF-8	≎ 120 ▲ ▼
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数 ログイン一般ユーザD ログイン一般ユーザパスワード スクリプトファイル	なし その他 localMacSa	© ○ ○ ▲ ▼ mple.usc	デパイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザD ログイン管理者ユーザパスワード ℃	UTF-8	≎
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数 ログイン一般ユーザID ログイン一般ユーザパスワード スクリプトファイル スクリプト実行タイムアウト(約)	なし その他 localMacSa	○ ○ ○ ○ ■ ■ 120	デパイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(参) ログイン管理者ユーザ(D ログイン管理者ユーザ)C ン シャットダウン時の使用	UTF-8	0 120 ▲ ▼
UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ	2	スクリプト設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS 接続リトライ回数 ログイン一般ユーザD ログイン一般ユーザパスワード スクリプトアイル スクリプト実行タイムアウト(8) スクリプト実行テスト	なし その他 localMacSa	 ○ ○	デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(69) ログイン管理者ユーザ(D ログイン管理者ユーザ(スワード ○ シャットダウン時の使用	UTF-8	≎ 120 ▲ ▼

	項目名	説明
1	スクリプト設定情報	登録されたスクリプトのリストとその概要を表示します。
		・[新規登録] ボタンをクリックすると画面下の「スクリプト設定」欄が表
		示され、新しいスクリプトを作成できます。
		・登録されているスクリプトがある場合は [修正]、[削除] ボタンが表示さ
		れ、スクリプトの編集や削除ができます。
		※スクリプト設定情報の登録件数は、最大 20 件です。
2	スクリプト名称	スクリプトの名称を入力します。
		※最大 100byte です。

	項目名	説明
2	コマンドタイプ	プルダウンメニューでスクリプトの通信方式を設定します。
		なし/コマンドライン/SSH V1/SSH V2/Telnet
		※「なし」を選択すると、登録したスクリプトを無効にします。
		※「コマンドライン」はローカルコンピュータ内のバッチファイル等を実行
		する場合に選択します。
		※「SSH V1」、「SSH V2」や「Telnet」はネットワーク越しのコンピュー
		タを制御する場合に選択します。
		※本製品が SSH で対応している暗号化方式は以下の通りです。
		AES256-SDCTR/AES192-SDCTR/AES128-SDCTR/AES256-CBC
		/AES192-CBC/AES128-CBC
	OS	スクリプトを実行するコンピュータの OS を設定します。
		その他/Windows/Linux/Mac
	接続リトライ回数	ログインに失敗した際の再試行の回数を選択します。
		(設定值:0~9/初期值:0回)
	ログイン一般	スクリプトを実行するコンピュータのログインユーザ ID(一般)を指定し
	ユーザ ID	ます。スクリプト内で \$u1 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入
		力した値に置き換わります。
	ログイン一般	スクリプトを実行するコンピュータのログインパスワード (一般)を指定し
	ユーザパスワード	ます。スクリプト内で \$p1 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入
		力した値に置き換わります。
	ログイン管理者	スクリプトを実行するコンピュータのログインユーザ ID(管理者)を指定
	ユーザ ID	します。スクリプト内で \$u2 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に
		入力した値に置き換わります。
		※Linux/Mac/Unix で必要であれば入力、Windows では不要です。
	ログイン管理者	スクリプトを実行するコンピュータのログインパスワード (管理者)を指定
	ユーザパスワード	します。スクリプト内で \$p2 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に
		入力した値に置き換わります。
		※Linux/Mac/Unix で必要であれば入力、Windows では不要です。
	スクリプトファイル	プルダウンメニューで実行するスクリプトを選択します。
		※以下の階層に拡張子「usc」で保存したファイルを選択肢として表示しま
		す。
		/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/
		※スクリプトファイルの作成方法は P.35「5-8 スクリプトの作成」を参照
		してください。
	スクリプト	スクリプト実行時のタイムアウト時間を設定します。
	実行タイムアウト	(設定值:0~7,200 秒/初期值:120 秒)
	(秒)	「0」を設定するとタイムアウトしません。

	項目名	説明
2	スクリプト	[テスト] ボタンをクリックすると、スクリプトを実行します。
	実行テスト	「結果」欄に以下実行結果が表示されます。
		Success / Connection Timeout / Command Timeout
	デバイス IP アドレス	スクリプトを実行するコンピュータの IP アドレスを入力します。
	文字コード	スクリプトの文字コードを設定します。
		スクリプト実行対象の OS に合わせて設定してください。
	接続タイムアウト	ログイン時のタイムアウト時間を設定します。
	(秒)	(設定値:0~120秒/初期値:120秒)
		「0」を設定するとタイムアウトしません。
	シャットダウン時	「する」
	の使用	本製品で OS をシャットダウンする時にスクリプトを実行します。
		「しない」
		本製品で OS をシャットダウンする時にスクリプトを実行しません。

5-8 スクリプトの作成

スクリプトはテキストエディットなどのテキストエディタでテキストファイルとして作成します。 スクリプトは2行を1単位として、「何を受け取った時に、何を送信するか」を記述します。

例えば、接続先から「\$」を含む文字列を受信した時に、コマンド su を送信する場合は、次のように記述します。

rcv=\$

snd=su

作成したスクリプトは、以下のフォルダに拡張子「usc」を付けて保存します。

/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/

上記フォルダに保存したスクリプトファイルを、「スクリプト設定」欄(①)の「スクリプトファイル」に 選択肢として表示します。

スクリプト設定			
スクリプト名称	テスト		
コマンドタイプ	SSH V1	デバイスIPアドレス	
OS	その他 ᅌ	文字コード	UTF-8
接続リトライ回数	0 🔺 🔻	接続タイムアウト(秒)	120 🔺 🔻
ログイン一般ユーザID		ログイン管理者ユーザID	
ログイン一般ユーザパスワード		ログイン管理者ユーザパスワード	
1 スクリプトファイル	sshOSXSample.usc	\bigcirc	
スクリプト実行タイムアウト(秒)	120 🔺 🔻	シャットダウン時の使用	する ᅌ
スクリプト実行テスト	テスト 結果:		
			適用 キャンセル

■ 特殊なスクリプトコマンド

特殊なパラメータとして\$u1,\$p1,\$u2,\$p2を使用できます。それぞれ以下のように使うことができます。

パラメータ	内容	説明
\$u1	ログイン一般ユーザ ID	「スクリプト設定」の「ログイン一般ユーザ ID」に
		置き換えられます。
\$p1	ログイン一般ユーザパスワード	「スクリプト設定」の「ログイン一般ユーザパスワー
		ド」に置き換えられます。
\$u2	ログイン管理者ユーザ ID	「スクリプト設定」の「ログイン管理者ユーザ ID」
		に置き換えられます。
\$p2	ログイン管理者ユーザパスワード	「スクリプト設定」の「ログイン管理者ユーザパスワ
		ード」に置き換えられます。

■ スクリプト例

以下はシャットダウンを実行するスクリプト例です。

cv=login as:	
nd=\$u1	
cv=password:	
nd=\$p1	
ev=\$	
nd=su	
ev=:	
nd=\$p2	
ev=#	
nd=init 0	

- スクリプト作成上の注意
- ・ 改行から次の改行までを1行とみなします。
- · 空白も1文字とみします。
- ・ 「rev=」コマンド以前に受信した文字列は無視されます。
- ・ 全角文字は使用できません。制御コードなしの ASCII 文字のみで記述してください。
- ・ 大文字・小文字は区別されます。
- 空白行を含むことはできません。
- ・ 「snd=」に対して文字列 "<CR>"を記述した場合は改行になります。
- 「\$u1」,「\$u2」,「\$p1」,「\$p2」,「<CR>」は文字列としては送信できません。
- ・ 「<CR>」を含む文字列は「rcv=」のパターンに指定できません。
- ・ 行数および1行あたりの文字数に制限はありません。
- 「rcv=」での受信待ちのタイムアウト処理は実行しません。Telnet や SSH のコネクションのタイムアウトにより切断されます。



スクリプトの二重実行の禁止

スクリプト実行中は、他のスクリプトを実行できません。

→シャットダウン時の実行スクリプトが複数登録されている場合、登録順に1つずつ実行します。

→スクリプト実行中にイベント発生によりスクリプトが呼び出されても無視します。

5-9 スケジュール

UPS のスケジュール運転の設定をします。

メニューは「スケジュール登録」と「スケジュール設定」の2つで、「UPSの停止」、「UPSの停止/起動」、 「自己診断テスト」をスケジュール実行することができます。

参考

- ・設定を変更したら、必ず [適用]ボタンをクリックします。
- ・「UPS の停止」はシャットダウンパラメータ設定に基づいて、OS をシャットダウンした後、UPS を停止 します。
- ・「UPS の停止 / 起動」は UPS の停止動作 (OS のシャットダウン、UPS の停止) の後、指定時間後に UPS を自動起動します。

・「自己診断テスト」は UPS の自己診断テスト(10 秒間の放電テスト)を実行します。

■ スケジュール登録

8 😑 🔘	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	スケジュール登録
トップ	登録済みスケジュール
シャットダウンパラメータ	運転項目 繰り返し スケジュール開始日 スケジュール開始時刻 起動 修正 削除
スクリプト設定	
スケジュール	
スケジュール登録	スケジュール登録
スケジュール設定	スケジュール運転項目 UPSの停止/起動 📀
ログ	線り返し 例外設定
1026	○ 繰り返しなし
	(○毎日) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
UPS起動設定 (2)	
その他設定	
ログオフ	スケジュール内容
	スケジュール開始日時 UPS起動
~107	日付 2017 ▲ ▼ 年 5 ▲ ▼ 月 22 ▲ ▼ 日 0 ▲ ▼ 時間 0 ▲ ▼ 分後
	時間 16 ▲ ▼ : 58 ▲ ▼ UPS起動を有効にする
	(注意) スクジョール開始日時=シャットダウン開始のタイミング 同日にスケジュール伸止点転取定する場合は、停止とお勧の問題を1分以上あけて設定してください。
	◎ ← ③ 適用 キャンセル

	項目名	
1	登録済みスケジュール	登録されたスケジュールのリストと概要を表示します。
		・[新規登録] ボタンをクリックすると画面下の「スケジュール登録」欄
		(②)が表示され、新しいスケジュールを作成できます。
		・登録済のスケジュールは [修正]、[削除] ボタンで編集、削除できま
		す。
		※スケジュールの登録件数は、最大 50 件です。
2	スケジュール運転項目	スケジュール実行する動作を「UPS の停止/起動」、「自己診断テスト」
		から選択します。

	項目名	説明
2	繰り返し	スケジュールの繰り返し動作を設定します。
		繰り返しなし:年月日指定の1回のみ
		毎日:365日繰り返す
		毎週 (曜日を指定):指定曜日で毎週繰り返す
		毎月:指定日で毎月繰り返す
	例外設定	毎日/毎週/毎月で繰り返し設定した日のうち、スケジュールを実行し
		ない日(例外日)を設定します。
		カレンダーボタン(④)をクリックして例外日付を選択した後、
		[追加] ボタンで登録します。
		登録済の例外日は[修正]、[削除]ボタンで変更、削除できます。
		※例外日はスケジュール開始日(UPS停止日)が対象です。起動日は対
		象になりません。
		※例外設定の登録件数は、最大 30 件です。
	スケジュール開始日時	UPS の停止(OS のシャットダウン)を開始する日時を設定します。
	UPS 起動	スケジュールで UPS が停止した後、自動再起動させる設定をします。
		UPS を再起動させる場合は「UPS 起動を有効にする」にチェックし、
		スケジュール開始時間から UPS を起動させるまでの時間を設定します。
		※UPS 停止と起動の間隔は、1 分以上空けて設定してください。
3	スケジュール確認ボタ	「スケジュール確認」ボタン(③)をクリックすると、現在のスケジュ
	ン	ール設定状況がカレンダーで確認できます。
		カレンダーを閉じるには、「スケジュール確認」ボタンをクリックします。
		スケジュール登録
		< 6月 2017 > 日 月 火 水 木 金 土
		28 29 30 31 07:30 起動 1 07:30 起動 2 3 18:30 停止 18:30 停止 18:30 停止 18:30 停止 3
		4 07-30 起動 5 07-30 起動 6 07-30 起動 7 07-30 起動 8 07-30 起動 9 10 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止
		11 07-30 紀動 12 07-30 紀動 13 07-30 紀動 14 07-30 紀動 15 07-30 紀動 16 17 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止 18-30 停止
		18 07:30 起動 19 07:30 起動 20 07:30 起動 21 07:30 起動 22 07:30 超動 23 24 18:30 停止 18:30 停止
		250 パーム/ 花崎 250 パーム/ 花崎 270 パーム/ 花崎 270 パーム/ ひパーム/ ひボーム 10:30 杯山 30 1 18:30 杯山 18:30 杯山 18:30 杯山 18:30 杯山 18:30 杯山 18:30 杯山 1 2 3 4 5 6 7 8
		IMI ← カレンターを閉じる 適用 キャンセル

注意

スケジュール動作

- ・設定画面操作中でもスケジュールは実行します。
- ・「繰り返しなし」の場合、実行済でも「登録済みスケジュール」リストには残ります。不要なものは削除し てください。
- ・「UPS の停止/起動」が同時刻に複数登録されている場合は、最後に登録したものが有効になります。

■ スケジュール設定

	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	スケジュール設定
トップ	初期值
シャットダウンパラメータ	スケジュールシャットダウン開始警告設定
スクリプト設定	スケジュールシャットダウン開始警告 600 ▲ ▼ 秒前
スケジュール	適用 キャンセル
スケジュール登録	
スケジュール設定	
ログ	
イベント	
UPS起動設定	
その他設定	
ログオフ	
ヘルプ	

項目名	説明
スケジュールシャット	スケジュールシャットダウン開始の警告画面を出す時間を設定します。
ダウン開始警告	(設定值:0~600秒前/初期值:600秒前)
	※ [初期値] ボタンをクリックすると初期値「600」秒前になります。
	● ● ○ スケジュール開始警告
	スケジュールシャットダウン開始まで 570 秒
	閉じる

参考

- ・スケジュール開始警告時間内に次のスケジュールの開始時刻が到達した場合、後から到達したスケジュー ルは無視します。
- ・スケジュール開始警告表示中にスケジュール開始警告時間の値を変更しても、実行中のスケジュールには 影響しません。

5-10 ログ

電源の状態や発生するイベントを記録します。

「イベントログ」と「データログ」の2つのメニューがあります。



■ イベントログ

本製品と UPS で発生したイベントを表示、出力します。

	PowerAttendant Lite
OMRON	
第単設定	イベントログ
ップ	期間設定
ッヤットダウンパラメータ	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →
スクリプト設定	O From 2017-05-21 To 2017-05-22
スケジュール	適用
19	日時 2017-05-22 17:02:49 [スケジュール運転(指定日)]を削除しました[Mac1012-1.local 2017-05-22 17:12]
イベントログ	 2017-05-22 17:02:00 スケジュールシャットダウン開始書告(指定日)[Mac1012-1.local 2017-05-22 17:12] 2017-05-22 17:01:37 [スケジュール運転指定日)を変更しました[Mac1012-1.local 2017-05-22 17:12] 2017-05-22 17:01:03 [スケジュール運転指定日)を変更しました[Mac1012-1.local 2017-05-22 17:16]
データログ	2017-05-22 16:36:01 PowerAttendant Liteの設定値で更加した。[Mac1012-1.local UPS(BY50F 2017-05-22 16:36:01 入力電源正常[Mac1012-1.local UPS(BY50FW/USB1)]
ネット	2017-05-22 16:36:00 適信確立[Mac1012-1.local UPS(BY50FW/USB1)] 2017-05-21 17:19:02 エージェント起動[Mac1012-1.local]
IPS起動設定	2
その他設定	
コグオフ	
ヘルプ	
(3

	項目名	説明
1	期間設定	イベントログを表示する期間を設定します。
		日時、期間をラジオボタンで選択し設定します。
		・日時:プルダウンメニューから週単位で選択します。(1~15 週)
		・期間:開始日 (From) と終了日 (To) を年月日 「YYYY-MM-DD」
		形式で入力するか、
		ます。
		※ [適用] ボタンをクリックすると、画面下にイベントログリストを
		表示します。
2	イベントログリスト	指定された期間のイベントログを表示します。
3		イベントごとの発生数を横棒グラフで表示します。
	グラフ1ボタン(🖿)	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
		イベントの発生数を期間ごとに縦棒グラフで表示します。
	グラフ2ボタン(ШШ)	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
	ナビゲーションボタン	表示が複数ページに渡る場合[最初のページ]、[前ページ]、[次ページ]、
		[最後のページ] ボタンでページを切り替えます。

	項目名	説明
3	[保存] ボタン	イベントログ(CSV 形式)を保存します。[保存] ボタンをクリックす
		ると、以下の階層に名前(EventLogCSVYYYYMMDDhhmm.zip)を
		付けて圧縮保存します。
		/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/
		※YYYYMMDDhhmm(年月日時)のファイル名で ZIP 圧縮して保存
		します。同名のファイルがある場合は上書きします。
	[削除] ボタン	保存されているすべてのログデータを消去します。
	[ログオプション] ボタン	イベントログの記録期間を設定します。
		プルダウンメニューで期間を選択し、[適用] ボタンをクリックします。
		(設定値:1~15 週/初期値:15 週)
		初期值
		イベントログオプション
		最大イベントログ記録時間 15 😒 選
		※ [初期値] ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。

■ グラフ表示

[グラフ] ボタンをクリックすると以下のグラフが表示されます。



	項目名	説明
1	グラフ化	ログをグラフ化する期間をプルダウンメニューで選択します。
		「過去1週間/2週間/3週間/4週間」から選択します。
2	イベント	グラフ化するイベントをプルダウンメニューで選択します。
		「すべてのイベント/通信エラー/オーバーロード/入力電源異常
		/バッテリ劣化/温度超過/バッテリロー」から選択します。
3	[設定] ボタン	[設定] ボタンを押すとグラフ表示します。

PAL ユーザーズマニュアル

■ データログ

入力電源と UPS の出力状態を表示、出力します。

_										
プ	UPS選択									
ットダウンパラメータ	💽 🎒 USB1	B	Y50FW							
リプト設定										
_{มี-} ม (1	● 日時 1週		\$							
	O From 2017-05-1	15		To 2017-0	5-22					
										適用
ベントログ	項目	入力	出力	入力	出力	負荷	内部	バックアップ	パッテリ	バッテリ
ータログ		電圧(V)	電圧(V)	周波数(Hz)	周波数(Hz)	容量(%)	温度(℃)	時間(Min)	電圧(V)	容量(%)
,,	最大值	102.5	102.5	50.0	50.0	0	28.7	0	13.6	100
/ F	最小值 平均值	101.6	101.6	49.9 50.0	49.9	0	28.3	0	13.6	100
		እታ	出力	入力	出力	負荷	内部	バックアップ	バッテリ	バッテリ
己動設定	日時	電圧(V)	電圧(V)	周波数(Hz)	周波数(Hz)	容量(%)	温度(℃)	時間(Min)	電圧(V)	容量(%)
2動設定	日時 2017-05-22 17:06:36	電圧(V) 102.4	電圧(V) 102.4	周波数(Hz) 50.0	周波数(Hz) 49.9	容量(%) 0	温度(℃) 28.5	時間(Min) 0	電圧(V) 13.6	容量(%) 100
出動設定	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36	電圧(V) 102.4 102.0	電圧(V) 102.4 102.0	周波数(Hz) 50.0 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9	容量(%) 0 0	温度(℃) 28.5 28.5	時間(Min) 0 0	電圧(V) 13.6 13.6	容量(%) 100 100
a動設定 1設定 1-7	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36 2017-05-22 17:04:35 2017-05-22 17:04:35	電圧(V) 102.4 102.0 102.2	電圧(V) 102.4 102.0 102.2	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9	容量(%) 0 0	温度(℃) 28.5 28.5 28.3 28.5	時間(Min) 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100
a動設定 s設定 たフ	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36 2017-05-22 17:04:35 2017-05-22 17:03:34 2017-05-22 17:03:34	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9 49.9 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9 49.9 50.0	容量(%) 0 0 0 0	温度(℃) 28.5 28.5 28.3 28.5 28.5	時間(Min) 0 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100 100
a動設定 結設定 たつ -	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36 2017-05-22 17:03:34 2017-05-22 17:03:34 2017-05-22 17:01:33	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9 49.9 50.0 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9 49.9 50.0 50.0	容量(%) 0 0 0 0 0	温度(℃) 28.5 28.5 28.3 28.5 28.3 28.5 28.3	時間(Min) 0 0 0 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100 100 100 100
動設定 設定 1フ 7	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36 2017-05-22 17:04:35 2017-05-22 17:03:34 2017-05-22 17:02:33 2017-05-22 17:00:33 2017-05-22 17:00:33	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2 102.5 102.4	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2 102.5 102.4	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9 50.0 50.0 50.0 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9 49.9 50.0 50.0 50.0 49.9	容量(%) 0 0 0 0 0 0 0 0	温度(℃) 28.5 28.5 28.3 28.5 28.3 28.5 28.5 28.5	時間(Min) 0 0 0 0 0 0 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100 100 100 100 100
調設定 設定 で 2	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:05:36 2017-05-22 17:04:35 2017-05-22 17:02:33 2017-05-22 17:02:33 2017-05-22 17:00:33 2017-05-22 17:00:33	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2 102.5 102.4 102.1	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.5 102.5 102.4 102.1	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9 50.0 50.0 50.0 49.9 49.9	容量(%) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	温度(℃) 28.5 28.5 28.3 28.5 28.3 28.5 28.5 28.5 28.3	時間(Min) 0 0 0 0 0 0 0 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100 100 100 100 100 100
動設定 1設定 ア	日時 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:06:36 2017-05-22 17:04:35 2017-05-22 17:02:33 2017-05-22 17:01:33 2017-05-22 17:01:33 2017-05-22 17:01:33 2017-05-22 16:56:33 2017-05-22 16:56:33	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.2 102.5 102.4 102.1 101.8	電圧(V) 102.4 102.0 102.2 102.2 102.2 102.5 102.4 102.1 101.8	周波数(Hz) 50.0 50.0 49.9 49.9 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	周波数(Hz) 49.9 49.9 49.9 50.0 50.0 50.0 49.9 49.9 49.9 49.9	容量(%) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	温度(°C) 28.5 28.5 28.3 28.5 28.3 28.5 28.5 28.5 28.3 28.5 28.5	時間(Min) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	電圧(V) 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6 13.6	容量(%) 100 100 100 100 100 100 100 100 100

	項目名	説明
1	期間設定	データログを表示する期間を設定します。
		日時、期間をラジオボタンで選択し設定します。
		・日時:プルダウンメニューで週単位で選択します。
		・期間:開始日 (From) と終了日 (To) を年月日「YYYY-MM-DD」
		形式で入力するか、
		ます。
		※ [適用] ボタンをクリックすると、画面下にデータログリストを表示
		します。
2	データログリスト	指定された期間のデータログを表示します。
		※上段に各データの最大値/最小値/平均値を表示します。
③ ガニマギカン (商用電源の電圧の数位を折れ線グラフで表示します。
	グラフボタン (IMM) 	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
	ナビゲーションボタン	表示が複数ページに渡る場合 [最初のページ] [前ページ] [次ページ]
		[最後のページ] ボタンでページを切り替えます。
	[保存] ボタン	データログ(CSV 形式)を保存します。[保存] ボタンをクリックする
		と、以下の階層に名前(DataLogCSVYYYYMMDDhhmm.zip)を付け
		て圧縮保存します。
		/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/
		※YYYYMMDDhhmm(年月日時)のファイル名で ZIP 圧縮して保存
		します。同名のファイルがある場合は上書きします。

	項目名	説明					
3	[削除] ボタン	保存されているすべてのログデータを消去します。					
	[ログオプション] ボタン	データログの記録間隔等を設定します。					
		プルダウンメニューで各値を選択し、[適用] ボタンをクリックします。					
		 ・最大データログ記録時間:データログ記録期間 					
		(設定値:1~15週/初期値15週)					
		・記録間隔(商用運転時):商用運転時のデータ記録間隔					
		(最小值:5秒/初期值60秒)					
		・記録間隔(バックアップ運転時):バックアップ運転時のデータ記録					
		間隔(最小值:5秒/初期值10秒)					
		初期值					
		データログオブション					
		最大データログ記録時間 15 ② 週					
		記録問隔(商用連転時) 60 記録問隔(バックアップ運転時) 10 ○ 秒					
		適用 キャンセル					
		 ※[初期値]ボタンをクリックすると、各設定値が初期値に戻ります。					

■ グラフ表示

[グラフ] ボタンをクリックすると以下のグラフを表示します。



	項目名	説明
1	グラフ化	ログをグラフ化する期間をプルダウンメニューで選択します。
		「過去1時間/12時間/24時間/1週間」から選択します。
2	[設定] ボタン	[設定] ボタンをクリックするとグラフ表示します。

5-11 イベントアクション設定

本製品や UPS でイベントが発生した際に、指定したアクションを実行することができます。

参考
・設定を変更したら、必ず[適用]ボタンをクリックします。
・スクリプトの詳細は、P.33「5-7 スクリプト設定」を参照してください。

ベントアクション設定 クション情報 ・・アクションファイル名 修正 テスト 修正	
×ントアクション設定 クション情報 □ アクションファイル名 「修正 テスト 藤正 ※	
クション情報 「アクションファイル名」「修正 テスト 参正 ペント リフト	
クジョンファイル名 修正 アクションファイル名 修正 テスト	
x ⁶ ./L117 L	
x ⁶ ./L117 L	
AN 1 1 7 L	
877F117F	
MN 1171	
ペント名	説明
□ (前報) □ 入力電源正常	商田運転を開始します。
通信確立	毎停雷雷源装置(UPS)と通信を開始しま
□ エージェント記動	エージェントを起動します。
□ エージェント停止	エージェントを停止します。
□ = 2 ± 2 + 1 ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	テストの結果に異常がなく、正常に動作
□ パッテリ白動テスト結果:異常なし	テストの結果に異常がなく、正常に動作
□ [UPS出力コンセント選択]を変更しました	[シャットダウンパラメータ]画面で設定す
□ [待機時間]を変更しました	[シャットダウンパラメータ]画面で設定/
[シャットダウン開始遅延]を変更しました	[シャットダウンパラメータ]画面で設定す
[シャットダウンに必要な時間)を変更しました	[シャットダウンパラメータ]画面で設定/
□ [フンセント出力停止までの時間]を変更しました	[シャットダウンパラメータ]画面で設定す
[IDCを動時の出力コンセント深研時間を変更しました	[UDS記動/再記動]両面で設定が変更され
	ペント名 「情報 入力電源正常 通信確立 エージェント起動 エージェント停止 自己診断結果:異常なし (パッテン自動テスト結果:異常なし (リPS出力コンセント選択を変更しました ドや明ト間を変更しました (シャットダウン(開始変更しました (シャットダウン(開始変更しました (シャットダウンに必要な時間)を変更しました (コンセント出力停止までの時間を変更しました

	項目名	説明
1	アクションファイル名	スクリプト設定で登録した「スクリプト名称」を表示します。
		P.33「5-7 スクリプト設定」参照
	[修正] ボタン	[修正] ボタンをクリックすると下段(2)にイベントリスト
		を表示します。
2	イベントリスト	アクション実行のトリガーとなるイベントを指定します。
		イベントを「情報」、「警告」、「エラー」の3つに分類しており、
		分類毎の一括選択や個別に選択することができます。
		また、1 つのアクションに対して、複数のイベントを選択する
		こともできます。

5-12 UPS 起動設定

UPS 再起動の条件や動作などを設定することができます。



[初期値]ボタンをクリックすると、本製品が持っている初期設定値に戻ります。
 本製品の初期値(UPSの工場出荷値とは異なります。)
 UPS 自動再起動:する
 UPS 起動遅延時間:5秒
 バッテリ容量:0%
 出力開始遅延コマンド送信:する
 UPS コールドスタート機能:する

OMBOU		PowerAttendant	t Lite		
簡単設定		UPS起動設定			
トップ	Γ				初期值
シャットダウンパラメータ		UPS再起動設定			
スクリプト設定	\bigcirc	UPS自動再起動	する	٢	
7 4-21 - 11	U	UPS起動遅	延時間 5 ▲ ▼ 利	Þ	
		パッテ	リ容量 0 🔺 🔻 🤊	5	
コグ		UPS起動時の出力開始遅延時間			
マイント	2	出力開始遅延コマンド送信	しない	٥	
IPS起動設定		出力コンセントA	0	≎ 秒	
UPS記動設定		出力コンセントB	0		
		出力コンセントC	0	◇ 秒	
との他設定	0	UPSコールドスタート			
コグオフ	3	UPSコールドスタート機能	しない	0	
ヽルプ	ļ				(達田) ちゃいわり
					AS/13 4 7 2 C/V

	項目名	説明
	UPS 自動再起動	 入力電源異常でシャットダウン後、復電した際の UPS の動作 を設定します。 以下の機種で設定が可能です(P.46「5-12 UPS 起動設定」参照)。 BZ35LT2、BZ50LT2、BW40T、BW55T、BW100T、BW120T、 BN50T、BN75T、BN100T、BN150T、BN220T、BN300T、 BN75R、BN150R、BN300R BN150XR、 ※UPS 再起動設定を UPS 本体の設定スイッチで行う機種では 本項目は有効になりません。
	UPS 起動遅延時間	復電してから UPS が起動を開始するまでの遅延時間を設定し ます。(設定値:0~999秒) ※本機能を持たない機種では有効になりません。
	バッテリ容量	 バッテリの充電量が、設定した容量以上にならないと、UPS を 起動させない設定です。(設定値:0~100% /10%刻み) ※UPS 側の工場出荷値は0%です。 ※本機能を持たない機種では有効になりません。
2	UPS 起動時の出力開始遅延時間	出力コンセント制御機能のある UPS で、コンセントグループ ごとに、電源出力の開始時間に遅延をかける設定です。 接続機器への電源供給開始に時間差を設けたい場合に使用し ます。遅延時間を設定する場合は、「出力開始遅延コマンド送 信」で「する」を選択します。 ※本機能を持たない機種では有効になりません。
3	UPS コールドスタート	 UPS のコールドスタート機能の設定をします。 コールドスタートは AC 電源のない所でも、UPS を起動させる (接続機器に電源を供給する)機能です。 コールドスタート「する」設定では、AC 電源に接続しなくて も、UPS の電源スイッチを ON にすることでバックアップ運転 (バッテリ出力)を開始します。 ※コールドスタートで運転している場合、バッテリ残量がなくなったところで UPS は停止します。 ※本機能を持たない機種では有効になりません。

6.その他設定

「その他設定」のメニューについて説明します。

6-1 UPS 設定

UPS 自体の機能や内蔵バッテリの交換日について設定します。

参考

設定を変更したら、必ず[適用]ボタンをクリックします。

• • •	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	UPS設定
トップ	UPS選択
シャットダウンパラメータ	O 🗊 USB1 BY50FW
	パッテリ自動テスト
スケジュール	する ◇ 適用 キャンセル
ログ	出力電圧/入力感度
1x>1 (2)	電圧(V)
UPS起動設定	◎渡 ③用 ミキャンセル
その他設定	前回のパッテリ使用開始日(交換日)
LIDSEDMIN	UPS使用開始日: 2017-03-29
	パッテリ交換日: 2017-03-29
通信設定 3	前回のパッテリ交換日: 2017-03-29
手動操作	次回のパッテリ交換日(予定日):
コマンド送信	適用 キャンセル
ユーザアクセス権設定	
同期設定	
ログオフ	
ヘルプ	

	項目名	説明
1	バッテリ自動テスト	UPS が4週間周期で行うバッテリ自動テストの設定をします。
		バッテリ自動テストは、内蔵バッテリの能力を定期的にチェックする
		機能です。
		※本項目を UPS 本体の設定スイッチで変更する機種では、有効にな
		りません。
2	出力電圧 (V)	UPS の出力電圧を設定します。
		UPS をスタンバイ状態(AC 入力 ON/電源スイッチ OFF)にして設
		定を変更します。
		※設定変更対象の UPS からコンピュータの電源をとっている場合は、
		コンピュータを別電源で起動した後、UPS の電源スイッチを OFF
		にして設定を変更してください。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。

	項目名	説明
2	入力感度	UPS の入力電圧感度を設定します
		UPS をスタンバイ状態(AC 入力 ON/電源スイッチ OFF)にして設
		定を変更します。
		※設定変更対象の UPS からコンピュータの電源をとっている場合は、
		コンピュータを別電源で起動した後、UPS の電源スイッチを OFF
		にして設定を変更してください。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
		※入力電圧感度の詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。
3	UPS 使用開始日	UPS 使用開始日を設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、
		ンダーから選択します。
	バッテリ交換日	バッテリを交換した日を設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、
		ンダーから選択します。
	次回のバッテリ交換日	UPS のバッテリ期待寿命や使用環境、使用方法等から、バッテリ交換
	(予定日)	の予定時期を決めて、設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、
		ンダーから選択します。

6-2 通信設定

UPS と本製品の通信に関する設定をします。

• • •	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	通信設定
トップ	初期值
シャットダウンパラメータ	LIDS通信ポート
スクリプト設定	No<通信ボート
スケジュール	
ПŰ	
イベント	
UPS起動設定	UPS検出時のCOM検索: 指定されたCOMポートのみ検索する 🗘 ポート追加 自動選択
その他設定	ネットワーク設定
UPS設定 通信設定	*本項目を変更した場合、設定を有効にするために自動的にログオフします。再度ログインしてください。 アクセスポート 50001 [備考] スタンドアロンで使用する場合は「0」と入力してください。
5.65-18/h	フロードキャスト 9 る 〇 外部からの接続禁止
- TWURTP コマンド送信	データ更新時間 データ更新時間 30 ▲ ▼ 秒
ユーザアクセス権設定	ログオフ時間
同期設定	ログオフ時間 30 🔺 🔻 分
ログオフ	適用 キャンセル
ヘルプ	

参考

・設定を変更したら、必ず [適用]ボタンをクリックします。

・[初期値]ボタンをクリックするとネットワーク設定、データ更新時間、ログオフ時間を初期値に戻し ます。

	項目名	説明
1	通信ポート	UPS が接続されている通信ポートを表示します。
	UPS 型式	接続された UPS の型式を表示します。
	[削除] ボタン	UPS が接続されている通信ポート(COM ポート)を削除します。
		※USB ポートは削除できません。
2	アクセスポート	本製品のアクセスポート番号を設定します。
		(初期值:50001)
		※「0」を選択するとアクセスポートを閉じます。スタンドアロンで使
		用する場合は「0」を設定します。
	ブロードキャスト	本製品のブロードキャストの設定をします。
		※ブロードキャストを停止にすると、エージェント一覧画面に自分以
		外のエージェントを表示しなくなります。
	外部からの接続禁止	リモートコンピュータからの操作を禁止します。
3	データ更新時間	モニタ画面のデータを更新する間隔を設定します。
		(初期値:30秒)
4	ログオフ時間	エージェントからログオフする時間を設定します。
		(初期値:30分)

参考

・ネットワーク設定の変更時は、設定を有効にする為に一度ログオフします。必要であれば、再度ログイン してください。

6-3 手動操作

各種手動設定について説明します。

• • •	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	手動操作
トップ	UPS選択
シャットダウンパラメータ	O 🗊 USB1 BYSOFW
スクリプト設定 (1)	ブザー
スケジュール	ブザーテスト ブザーを有効にする
¤″ (2)	即時シャットダウン
イベント	
UPS起動設定	自己診断テスト
その他設定	本11 編果:
UPS設定	出力コンセントB
通信設定 4	開始停止
手動操作	D9:
コマンド送信	出力コンセントC
ユーザアクセス権設定	開始 停止
同期設定	
۵ <i>9</i> 7 7 (5)	設定情報 インボート エクスポート
ヘルプ	

	項目名	説明
1	[ブザーテスト] ボタン	UPS のブザーを鳴らします。
	ブザーの設定	UPS のブザー鳴動状態を設定します。
		ブザーを無効にする 全てのブザーを鳴らしません。
		ブザーを無効にする 入力電源異常とバッテリ交換表示時
		(バックアップ中の のブザーを鳴らしません。
		み) UPS 異常時のブザーは鳴らします。
		ブザーを有効にする全てのブザーを鳴らします。 (UPS の工場出荷値)
2	即時シャットダウン	本製品による OS と UPS のシャットダウンを実行します。 以下の警告画面で[OK]ボタンをクリックすると、設定した待機時間(秒) 後にシャットダウンを開始します。

	項目名	説明
3	自己診断テスト	UPS の自己診断テスト(10 秒間の放電テスト)を実行します。
		結果は次のように表示されます。
		・成功 (yyyy/mm/dd hh:mm)
		・テスト結果異常("ハードウェア異常") yyyy/mm/dd hh:mm
		・テスト結果異常("バッテリ劣化") yyyy/mm/dd hh:mm
4	出力コンセント	出力コンセント制御機能をもった機種で、出力コンセント B/C の電源
		出力の開始/停止(ON/OFF)を実行します。
		※出力コンセント制御機能を持たない機種では、本項目は有効になりま
		せん。
5	設定情報	本製品の設定値をインポート/エクスポートします。
		[エクスポート] ボタンをクリックすると、以下の階層に設定値がエク
		スポートされます。ファイル名は「APP_Settings.zip」固定です。
		/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/
		[インポート] ボタンをクリックすると、以下の階層から保存されてい
		る設定値情報がインポートされます。
		/Users/Shared/OMRON/PAL/1.0/
		※設定値のインポート後はエージェントの再起動が必要です。
		インボートを完了しました。 設定内容を反映するにはタスクトレイアイコンからエー
		ジェントを再起動してください。
		ОК
		警告画面が出たら [OK] ボタンをクリックし、以下の手順で再起動し
		てください(P.25「5-1 エージェントの停止/起動」参照)。
		①ステータスメニューアイコンをクリックし「エージェント停止」を
		選択
		②アイコンに赤×がつくのを確認する
		③アイコンをクリックし「エージェント起動」を選択
		④アイコンの赤×が消えるのを確認する
		以上でエージェントの再起動は完了です。

注意

UPS 設定インポート時の注意

UPS 設定の値を設定ファイルでインポートする場合は、先に「同期設定」を「PAL の設定を優先する」 に変更してください。

「同期設定」が「UPS 内部の設定を優先する」になっている場合は、UPS 内部の設定が有効になります。 同期設定については P.55「6-6 同期設定」を参照してください。

6-4 コマンド送信

コマンドを送信して、UPS からの応答を確認します。

<mark>参考</mark> メンテナンスまたはカスタマサポートで使用する機能です。

OMRON	
簡単設定	コマンド送信
トップ	UPS選択
シャットダウンパラメータ	O 🗊 USB1 BY50FW
スクリプト設定	אַעדר
スケジュール	メンテナンスまたはカスタマーサポートが使用する機能です。
D 7	לגאילב
1×>1	
UPS起動設定	送信
その他設定	UPSからの応答
UPS設定	
通信設定	
手動操作	
コマンド送信	
ユーザアクセス権設定	
同期設定	
ログオフ	
ヘルプ	

	項目名	説明
1	コマンド入力	UPS のコマンドを入力して [送信] ボタンをクリックします。
	UPS からの応答	UPS からのレスポンスが表示されます。

6-5 ユーザアクセス権設定

エージェントにログイン可能なユーザ(ログイン ID)の追加登録、修正、削除をします。

参考	
設定を変更したら、	必ず[適用]ボタンをクリックします。

	PowerAttendant Lite	
OMRON		
簡単設定	ユーザアクセス権設定	
トップ	登録済ユーザ 前規登録	
シャットダウンパラメータ	ログインID アクセス権限 修正 削除 Admin フルアクセス 修正 削除	
スクリプト設定		
スケジュール 1		
ログ		
イベント		
UPS起動設定		
その他設定	ユーザアクセス権設定	
UPS設定	ログインID: ジャットダウンパラメータ設定 パスワード: シャットダウンパラメータ設定	
通信設定	パスワードの確認入力: コンクリプト設定	
手動操作	アクセス権限: O フルアクセス フィゲジュール登録 フィゲジュール設定	
コマンド送信		
ユーザアクセス権設定	(適用) キャンセル	
同期設定		
ログオフ		
ヘルプ		

	項目名	説明
1	登録済ユーザー覧	登録されているユーザの一覧を表示します。
		※ユーザの登録件数は、最大 10 ID です。
	[ログ] ボタン	ユーザを選択して [ログ] ボタンをクリックします。
		選択したユーザの操作ログ(「アカウントを追加」、「アカウントを修正」、
		「アカウントを削除」)を表示します。
	[新規登録] ボタン	[新規登録] ボタンをクリックします。下段の「ユーザアクセス権設定」
		画面(②)で、新しいアカウントを登録します。
2	ログイン ID	新しいアカウントを設定します。
	/パスワード	
	アクセス権限	ユーザのアクセス権限をラジオボタンで選択します。
		フルアクセスすべての設定・変更が可能です。
		リードオンリー 設定内容の閲覧のみ可能です。
		カスタム 項目別に権限を与える設定です。
		設定・変更可能な項目を、右枠のチェック
		ボックスで選択します。

6-6 同期設定

本製品には UPS 内部の設定を変更する機能があり、本項目では UPS 内の設定値と本製品の設定値の優先順 位を設定します。二つの設定値に差がある場合、優先された設定(UPS 又は本製品)で設定値を上書きし ます。

参考

関連する UPS 内部の設定は以下の項目を参照してください。 P.18「4-4 シャットダウンパラメータ設定」→「入力電源異常時の最大バックアップ時間」 P.46「5-12 UPS 起動設定」→「UPS 再起動設定」、「UPS コールドスタート」 P.48「6-1 UPS 設定」→「バッテリ自動テスト」、「出力電圧/入力感度」、「バッテリ交換日」

• • •	PowerAttendant Lite
OMRON	
簡単設定	同期設定
トップ	同期股定
シャットダウンパラメータ (1)	優先度 UPS内部の設定を優先する
スクリプト設定	適用 キャンセル
スケジュール	
ログ	
イベント	
UPS起動設定	
その他設定	
UPS設定	
通信設定	
手動操作	
コマンド送信	
ユーザアクセス権設定	
同期設定	
ログオフ	
ヘルプ	

	項目名	説明
1	優先度	「UPS 内部の設定を優先する」と「PAL の設定を優先する」から選択し、
		[適用]ボタンをクリックします。
		※「PAL の設定を優先する」は、本製品で持っている値を UPS 側に書き込
		みます。

注意

本製品の設定情報を使って UPS の内部設定を変更する場合は、「PAL の設定を優先する」を「適用」させた 後、設定情報をインポートしてください。

BN-T/BN-R シリーズで出力コンセント B 又は C の出力開始遅延時間を UPS 側の LCD メニューで細かく(1 秒 単位等)設定される場合は、「UPS 内部の設定を優先する」を選択してください。

P.46「5-12 UPS 起動設定」→「UPS 起動時の出力開始遅延時間」参照

本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人名や財産に大 きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除 き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。

【オムロン電子機器カスタマサポートセンタ】

0120-77-4717

[電話受付時間] 月曜日〜金曜日(祝祭日、当社の休日を除く) 9:00 ~ 17:30(12:00 ~ 13:00 を除く)

TEL: 03-5781-3930 FAX: 03-6718-3632

メールアドレス: omron_support@omron.co.jp

オムロン株式会社

電子機器統轄事業部 UPS 事業部 〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13 品川フロントビル 7F TEL: 03-6718-3630 最新情報はホームページをご覧ください。http://www.omron.co.jp/ese/ups/

> ©OMRON Corporation 2017 . All Rights Reserved. お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください。